

「湯沢市子ども読書活動推進計画」の目標値に対する成果

目標値

- (1) 毎年、小学6年生と中学3年生を対象として行われている「全国学力・学習状況調査」の次の項目(平成27年度調査結果)について、現在、すべて県の数値を下回っていることから、令和2年度において、それぞれの項目で市内の児童・生徒の割合が、県の割合を上回ることを目指します。

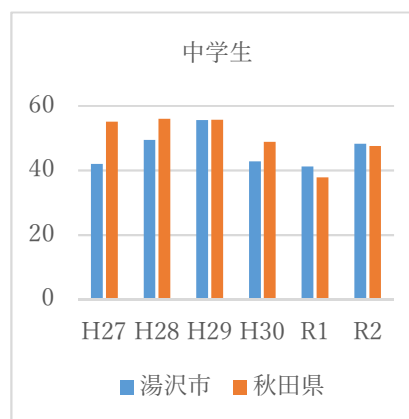
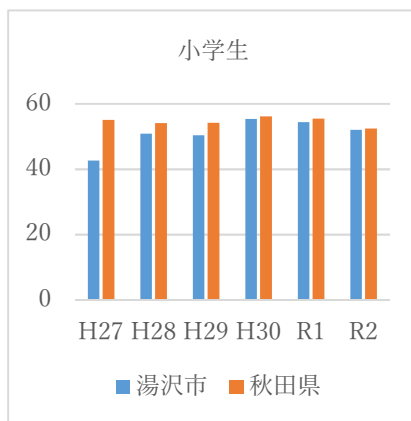
《本が好きな児童生徒の割合(「どちらかといえば好きは」含まない)》

		令和2年度	達成率	達成状況
小学生	湯沢市	52.0%	99.2%	概ね達成
	秋田県	52.4%		
中学生	湯沢市	48.3%	101.5%	達成
	秋田県	47.6%		

【参考】

単位：%

		H27	H28	H29	H30	R1	R2
小学生	湯沢市	42.6	50.9	50.4	55.4	54.4	52.0
	秋田県	55.1	54.1	54.2	56.2	55.5	52.4
中学生	湯沢市	42.0	49.5	55.6	42.8	41.2	48.3
	秋田県	55.1	56.0	55.7	48.9	37.9	47.6



＝検証＝

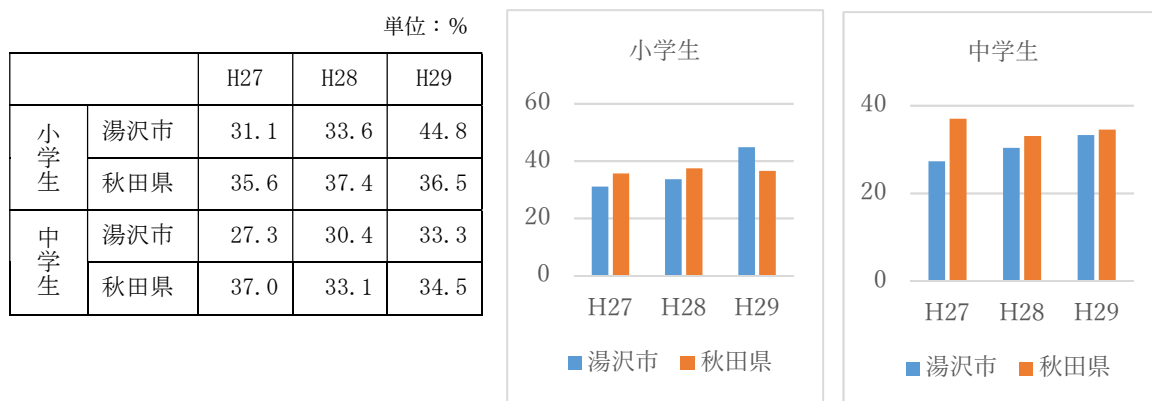
令和2年度において、小学生は県の割合をわずかに下回りましたが、概ね達成することができました。平成27年からの推移をみると県はほぼ横ばいですが市の割合は9.4ポイント上昇していることから読書活動への取り組みの成果だと考えます。中学生は県の割合を上回り達成することができました。子どもたちが一日の大半を過ごす学校での読書活動への取り組みの成果が大きく、読書は楽しいという認識を持っていることから、今後も機会をとらえて読書活動を支援していく必要があります。

目標値《月曜日から金曜日までの学校の授業時間以外において、1日当たり30分以上、読書をする児童・生徒の割合》について、参照する「全国学力・学習状況調査」（対象：小学6年生、中学6年生）の調査項目が変更になったため、「秋田県学習状況調査」（対象：小学4～6年生、中学1・2年生）の《1か月に読む本の冊数（3～4冊以上読書する割合）》を令和2年度の評価値としました。

		令和2年度	達成率	達成度
小学生	湯沢市	25.8%	109.3%	達成
	秋田県	23.6%		
中学生	湯沢市	10.2%	69.4%	未達成
	秋田県	14.7%		

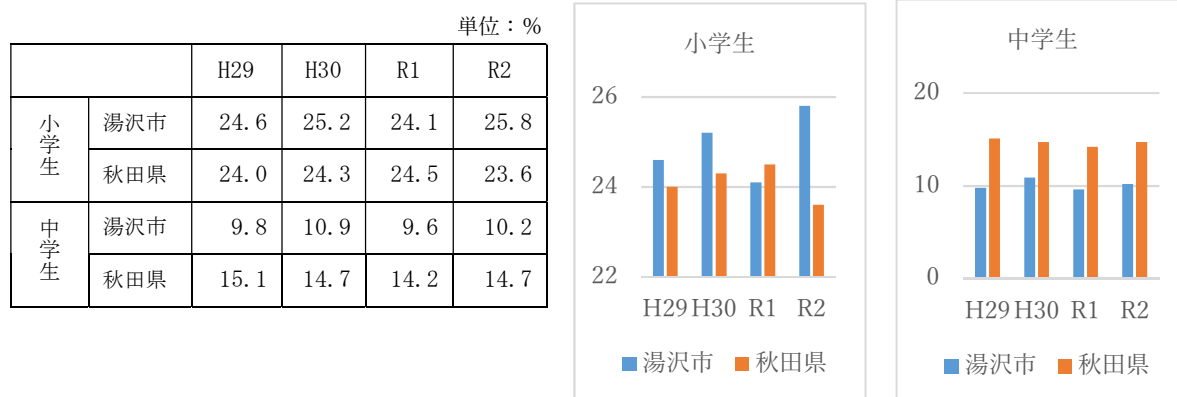
【参考】

《月曜日から金曜日までの学校の授業時間以外において、1日当たり30分以上、読書をする児童・生徒の割合》平成27年～平成29年「全国学力・学習状況調査」結果より



《1か月に読む本の冊数（3～4冊以上読書する割合）》

平成29年～令和2年「秋田県学習状況調査」結果より



＝検証＝

令和2年度において、小学生は県の割合を上回り達成することができましたが、中学生は達成することができませんでした。中学生の本を読まない理由として「本を読む時間がないから」と答えていることから、読書時間を定期的に確保する方策を講ずる必要があります。

目標値《本を読んだり、借りたりするために、1か月に図書館に行く児童・生徒の割合》について、参照する「全国学力・学習状況調査」（対象：小学6年生、中学3年生）の調査項目が変更になったため、「秋田県学習状況調査」（対象：小学4～6年生、中学1・2年生）の《1か月に3～4回以上図書館に行く児童・生徒の割合》を令和2年度の評価値としました。

		令和2年度	達成率	達成度
小学生	湯沢市	33.4%	142.7%	達成
	秋田県	23.4%		
中学生	湯沢市	8.0%	102.6%	達成
	秋田県	7.8%		

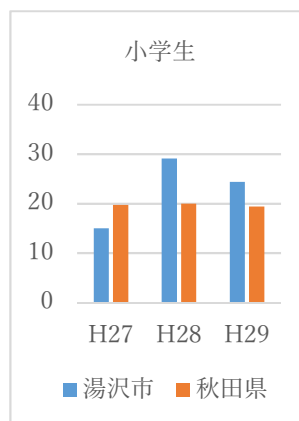
【参考】

《本を読んだり、借りたりするために、1か月に図書館に行く児童・生徒の割合》

平成27年～平成29年「全国学力・学習状況調査」結果より

単位：%

		H27	H28	H29
小学生	湯沢市	15.0	29.1	24.4
	秋田県	19.7	20.0	19.4
中学生	湯沢市	4.8	3.1	3.2
	秋田県	7.6	4.7	5.9

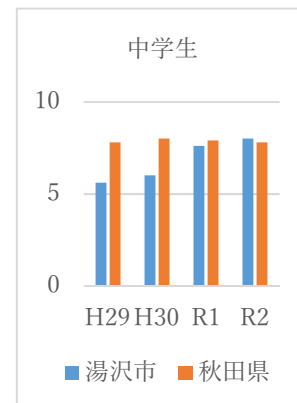


《1か月に3～4回以上図書館に行く児童・生徒の割合》

平成29年～令和2年「秋田県学習状況調査」結果より

単位：%

		H29	H30	R1	R2
小学生	湯沢市	25.7	27.1	27.8	33.4
	秋田県	20.6	21.1	25.1	23.4
中学生	湯沢市	5.6	6.0	7.6	8.0
	秋田県	7.8	8.0	7.9	7.8



＝検証＝

令和2年度において、小学生、中学生ともに目標を達成することができました。小学生は特に令和2年度県の割合を大きく上回りました。中学生は県の伸び率が横ばいであるのに対して市の割合は上昇していることから、小・中学校共に読書活動への取り組みの成果と考えられます。しかし、「行きたいと思わない」「行く時間がない」という児童・生徒も多く、図書に対する関心が高められるような魅力ある図書館の環境作りが課題です。

(2) 3歳児の保護者が読み聞かせを行う頻度を増加させるとともに、5歳児の保護者が3歳児の保護者と同程度の頻度で行うことを目指します。

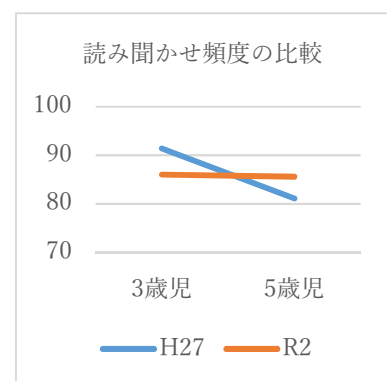
《3歳児の保護者が読み聞かせを行う頻度》

	平成27年度	令和2年度	達成率	達成度
月に2～3回以上	91.4%	86.0%	94.1%	未達成

《5歳児の保護者と3歳児の保護者が読み聞かせを行う頻度》

単位：%

	3歳児	5歳児	3歳児と5歳児の差	達成度
H27	91.4	80.1	-11.3	概ね達成
R2	86.0	85.6	-0.4	



＝検証＝

3歳児の保護者が読み聞かせを行う頻度を増加させることについては、わずかに達成することができませんでした。5歳児の保護者が3歳児の保護者と同程度の頻度で読み聞かせを行うことについては概ね達成することができました。ブックスタートの継続や子育て支援センターでの読書推進の取り組み、3歳児健診でのおすすめ図書の紹介の継続など、これまでの取り組みの成果であり、今後も保護者への継続した取り組みが必要です。